



欧州ラドン温泉療法研究会

大阪・Salzburg ラドンラジウム温泉勉強会レポート



2022年4月1日、大阪大学豊中キャンパス内にて「大阪・Salzburg ラドンラジウム温泉勉強会」を開催いたしました。コロナ禍にあり、参加者全員が会場という訳には行きませんでした。リモートでの参加を合わせますと、国内外から31名の方によって貴重な時間を共有することができました。ご参加頂いた方に感謝申し上げます。

さて、勉強会では、1) 大阪大学名誉教授・中村仁信先生「ラドン温泉療法の科学」、2) ハイルシュトレン坑道浴病院経営責任者・クリストフ コスティンガー氏「ガシュタイナー ハイルシュトレンのご紹介」、3) ハイルシュトレン坑道浴病院医科部長・マーチン オッフエンベッカー先生「ハイルシュトレン坑道浴病院における温泉療法と自律神経系に及ぼす影響と可能性」、4) バードガシュタインリハビリ病院医科部長・ニヴェス・カタリニッチ先生「バドガ

シュタイン病院におけるリハビリテーションとラドン浴の臨床的経験の報告」、5) Salzburg パラケラスス医科大学ハイルシュトレン専門研究室・リッター マーカス先生「ラドン療法による生体影響」6) ひぐらし整形外科内科院長・丸野紀子先生「放射線ホルミシスの臨床応用提案(一般利用も可)」の内容でとり行われました。

それぞれの先生方からは、1) 放射化学の歴史や多くの誤解がある事を認識する事の必要性、2) ハイルシュトレン坑道浴病院設立までの歴史と提供されるサービスの全般、3) ラドンと温熱による相互作用で起こる抗炎症作用や神経系疾患への有効性の臨床報告、4) ラドン浴の有効性をリハビリ全般とコロナ感染症における予後改善の報告、5) ラドンによる基礎生物学の視点から、抗炎症作用の機序だけでなく、骨再生へのメカニズムを解説、6) クリニック内でオペレーションできる低放射線(ラドン)療養の提案を頂きました。今回の勉強会では、長い歴史の中で培われてきたハイルシュトレンの経験から、①ラドン療法の有効性と安全性の確認、また②抗炎症作用には複数回の利用が有効であること。③リハビリテーションにラドン浴が有効である。④ラドン浴には骨形成の可能性があるなどの情報を頂きました。

コロナ対応が落ち着きを見せつつある状況ですので、次回はこれらの病院や学校を直接訪ね、さらに交流を深めていく研修ツアー企画をご案内予定です。

大阪大学医学部の協力にて開催

各講師資料の一部をご紹介します



Potential Causal Factors of Treatment Success in the Gastein Healing Gallery: Hyperthermia and the Autonomous Nervous System
 Martin Offenbächer MD MPH

ラドン温泉療法の科学

国際放射線防護委員会(ICRP)委員 1997~2001年
 医療放射線防護連絡協議会 監事
 一般社団法人 日本放射線ホルミシス協会 理事長

彩都友誼会病院長 / 大阪大学名誉教授 中村仁信

Therapieangebot

Klinikum Bad Gastein hat ein breites Therapieangebot wobei die **Bewegungstherapie** die entscheidende Rolle einnimmt.

Zum Einsatz kommen:

- Einzeltherapie
- Gruppentherapie
- Medizinische Trainingstherapie
- Ausdauertraining
- Koordinations- und Gleichgewichtstraining
- Gehtraining am Laufband
- Motorschiene (Kontinuierliche passive Bewegungsbehandlung)

